



高等部 国数 「次はだれ？みんなで何人？」



いいものを見つけたことを伝えたい
知ってるもん！わかるもん！
うまくできたこと褒めてほしい



想像力を働かせて考え、気づきを伝えてほしい。
頭の中でイメージして数えられるように。
数えて「ぴったり」を実感してほしい。

①みんなでカメラマン

「これは何かな？」クイズで導入。
校内の部屋や道具を接写したり、
ピントをぼかしたりして撮影したものを
提示して、当てるのを楽しみました。



次に「みんなが見つけたものをiPadでとりに行こう！」と校舎内をカメラマン気分で回りました。

撮影おすすめポイント

自分で撮れる生徒は思い思いにカシャ。
支援が必要な生徒には、
そのとき生徒が目にしたものを、
その生徒の視点と一緒にカシャ。
シャッターを押すのが難しい場合は、
動画撮影状態でiPadを渡します。

教室に戻ってみんなの写真を少し見て「あ〜!」「わかった!」等楽しいやり取り。全部の写真を見るのは「明日のお楽しみ〜」と、期待を膨らませて学習を終えました。

②何が写ってるのかな？

お楽しみの iPad 写真の発表会。
撮った生徒は、みんなわかるかな？
とウキウキ、ソワソワ。友だちの撮った写真は何が映るか、お楽しみ。



子どもの反応

「あ〜やっぱり!」「それ〇〇さんの!」
「いっしょや〜!」と一枚一枚、写真を見るたび、声が上がります。
みんなこんなに集中して見るの?!と教師もビックリするほどでした。

お互いを知り合った仲だからこそ、
大体わかってる感じが安心感をうみ、
自信をもって言いたくなります。
そして、自分から言ってなくても、
心の中で「そうそう」と共感的に学習に
参加できました。

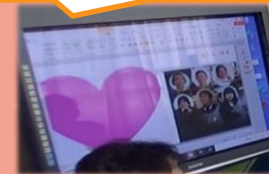
③仲間を集めて数えよう

♪ひとりのゾウさんクモの巣に〜の歌に合わせて、
画面上のゾウがハンモックに何人(何頭)乗っているかを数えます。
続いて、それぞれのクラスに友だち何人いたっけ?と問いかけると、
5や6以上の数量理解にちょっと自信がない子どもたち。
見上げたり、頭の中で友達の顔を浮かべたりして、
一生懸命数え始めました。

おすすめポイント

♥や☆の図形の後ろに、クラスメイトの写真が潜んでいるスライドを用意。ごく一部がちらっと見えて、もうちょっと見たいけど見えない感じが、しっかり数えて正解したい気持ちを掻き立てました。

このクラスは、何人かな？



(頭の中に友だちの顔をイメージして)
〇〇ちゃんと、〇〇さんと・・・